

清友

No.110

2018年10月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



昭和記念公園花の丘のコスモス



「安倍政治の終わり」の始まりへ

この政治を、チェンジする

沖縄知事選に大差で勝利

9月30日に投票された沖縄知事選は、故翁長知事の遺志を継承して「辺野古新基地建設反対」を掲げた玉城デニーさんが、「経済振興」を前面に出しての「辺野古隠し」という姑息な手段をとり、安倍政権の全面支援を受けた佐喜真候補に、大差で勝利しました。沖縄の民意は明白です。民意を無視して辺野古新基地建設を強行することは、断じて許されません。

安倍の足元は磐石ではない

一方、9月20日の自民党総

裁選で、安倍は3選を果たしましたが、民意に近いとされる党員票は、札束と脅して票固めをしたにも関わらず、55%の得票に留まりました。議員票を82%とったため圧勝に見えますが、党員票と議員票の対比は民意と国会のズレを象徴しています。安倍一強と言っても、足元は必ず

しも磐石ではありません。

安倍の悪政に抵抗しよう

しかし、依然安倍政権の支持率は危険水域とされる30%を切りません。最近、回復傾向にあります。その原因は、私たちの運動がまだまだ力不足だということに尽きます。

地道に安倍の悪政に対抗していくことが大事です。そして、来年の参議院選で与野党逆転を、そこまでいかなくても改憲勢力を3分の2以下にさせることです。そのために、自分でできることを一つひとつ積み重ねていきましょう。頑張れば、安倍は倒せます。

11月3日

国会を包囲しよう!

安倍首相は、憲法9条の「軍隊と交戦権否定」を事実上死文化する「憲法に自衛隊を明記する」改憲案を発議しようとしています。

世界に誇る平和憲法を葬り去り、日本を、世界のどこでもアメリカとともに戦争をする国にするわけにはいきません。11月3日は憲法公布日、国会前に集まりましょう!



国家権力の私物化を許すな！選挙は勝てる！総がかり運動で安倍退陣を！

9月14日、「安倍政治を終らせるために」をテーマに、学習交流会を開きました。講師は平和フォーラム事務局長の勝島一博さん。安倍政権の危険な性格やこれからの闘い方、選挙結果分析などを懇切丁寧に語っていただきました。参加者は20名。学習会後の懇親会も盛り上り、有意義な学習会でした。



案を決定できず、
①9条に自衛隊明記、②緊急事態条項、③参議院選挙の「合区」解消、

④教育充実の方向性のみ確認。安倍は、今、臨時国会での改憲発議を狙っている。

未だ安倍退陣には至らず

モリ・カケ疑惑追及の連続国会前集會等で、安倍政権を揺るがすことはできなかったが、退陣までには至らなかった。

大阪地検特捜部の財務省理財局佐川らの不起訴処分や新潟知事選で政治の潮目が変わり、内閣支持率も下げ止まり、国民の多くが反対した働き方改革法やカジノ法、参議院選挙制度法が強行採決された。

総がかり運動で安倍退陣を

モリ・カケ疑惑の真相究明と、ウソで塗り固めた安倍退陣を求める闘いを継続する。バラバラだった運動をまとめた「総がかり運動」により、

日本の平和運動の景色が変わり、市民と労働運動、野党の共闘を形成できた。19参院選

膨張し続ける軍事費

安倍政権下、防衛予算が増加し続けている。アメリカの言いなりで購入するイージスアシヨアは、当初見積もりの数倍の6千億円になる。イージスアシヨアは攻撃性が高い。朝鮮半島は対話の動きが加速、友好平和の方が有効な対応なのに、安倍政権は蚊帳の外だ。

武器輸出解禁と軍学共同

戦争への反省を基に武器輸出三原則を確立し、軍需産業に依存しない経済構造を築いてきたが、14年に武器輸出を

解禁。軍需産業への依存度が高まってきている。

また、軍学共同の動きも強まっており、15年に「安全保障技術研究制度」がスタート。東大は軍事研究を否定していたが、自民党の圧力に屈し研究を解禁。原子力村と同様、兵器村ができるかと癒着し、取り返しのつかないことになる。

臨時国会で改憲発議狙う

20年オリンピックを新しい憲法でと、安倍は18年通常国会での改憲発議を考えていたが、モリ・カケ疑惑などにより、3月の自民党大会で改憲



では改選一人区の野党一本化を実現し、安倍を倒しにいく。
野党共闘で安倍を倒せる

安倍政権は盤石ではない。10参院選以降6回の国政選挙は安倍自民党が全勝したが、自民の得票数は増えていない。17衆院でも「立憲+希望」の得票は自民票を10%上回っている。地方に厚い選挙制度に助けられて自民が勝ったにすぎず、潮目が変われば選挙結果は大きく変わる。得票率が高くなれば野党が有利になる。

第2回幹事会

①「新春の集い」日程変更、
②親睦旅行・フィールド
ワーク実施細目、③来年
春の学習会企画案を確認

9月14日に第2回幹事会と専門部会を開き、10月から3月までの行事実施案を検討しました。各行事の実施案は別記案内のとおりです。

「新春の集い」は7月の幹事会で1月19日の開催を決めていましたが、他の行動等の関

係で、2月2日に日程を変更しました。申し訳ありません。なお、「秋の親睦旅行」は、9月末現在で、参加申込者数がカラオケ付個室の使用可能な人数に達したため、実施するの旅行会です。

秋のフィールドワーク

- 開催日 10月16日(火)
- 集合 10時・東武浅草駅前
- テーマ 東京大空襲跡と墨田の歴史探訪
- コース

- ①ガイドの案内で「すみだ郷土文化資料館」の「東京空襲の体験画展」と墨田の歴史展示を見学(1時間程度)
- ②昼食後、見番通り等向島界限、浅草側の待乳山聖天等を散策
- ③言問橋浅草側詰付近で解散(14時半頃の予定)

- 参加費 1,000円(昼食代を含む)
- 申込み 今ならギリギリ間に合います

秋の親睦旅行

- 実施日 11月11日(日)～12日(月)
- 宿泊 ニュー・グリーンピア津南
- 主な行程

1日目=新宿集合8時15分・8時30分発
津南着12時30分

お昼は各自、温泉利用は自由。
夜は個室でカラオケ付、飲放題。

2日目=午前中、秋山郷散策ツアー。
ホテルで昼食。18時頃新宿着。

- 参加費 1万6千円(2日目の昼食付)
二人で個室は2千円×2プラス。
- 留意点 宿泊日7日前以降のキャンセルは取消料が発生
バスは他の一般客と一緒に。
- 申込み 今ならギリギリ間に合います

新春の集い 2019

- ◆開催日 2月2日(土)
11時30分～14時30分
- ◆場所 飯田橋「楼蘭」
(昨年と同じ中国料理店)
- ◆参加費 3,000円
*昨年同様、参加者のひと言、長寿祝い、開運ジャンケン大会実施
- ◆募集 12月に案内送付の予定

演芸を楽しむ会 2019

- ▼開催日 2月7日(木)
- ▼演目 国立演芸場2月上席
*出演者は1月初めに決まる
- ▼参加費 500円
*65歳未満1,000円
- ▼募集 1月に案内送付の予定

学習交流会 2019 春 3月と5月に連続講座

- ▼テーマ 「終活」2回連続講座
- ▼第1回 3月5日(火)
*エンディングノート
*葬式・お墓事情
- ▼第2回 5月中旬
*相続など法律関係
*遺族年金等死別後の遺族の生活
- ▼募集 第1回は1月に案内送付の予定
第2回は4月の予定

高齢者集会

社会保障改悪反対 戦争・原発・差別反対 安倍打倒を表明

9月11日、日本教育会館ホールで地公三単産・地公退高齢者集会、翌12日、文京シビックホールで全国高齢者集会在開催されました。

主催者の西沢地公退会長は、「自然災害が頻発する日本に必要なのは、防衛より防災。参院選に勝利し、高齢者切捨て政策を進める安倍政治を終らせよう。」と訴えました。

記念公演は沖縄



の心を歌で伝え続けている海勢頭（うみせど）豊さんユニットの「ジュゴンの海を守ろう」独特の旋律に載せた歌と語りには心に染み入りました。

■全国高齢者集会
人見退職者連合会長は、「持続可能な社会保障制度の維持には労働分配率の引上げが必要。高プロ、カジノ法を強行採決し、9条改憲を目論む安倍を参院選で追込み、退陣させよう。」と表明しました。

神津連合会長は、「連合70万組合員だけでなく、働く者5千万のための取組みが必要」と訴えましたが、なぜか安倍政権打倒の明言を避けました。集会後「西神田公園」まで元気にデモ行進しました。

今年も東京都職員共済組合との話し合いを実施

9月19日に開かれた都庁退連合単会会長会議で、8月29日に行われた東京都共済組合と都共済関連の退職者会（都庁・区・東交・東水）との話し合いの内容が報告されました。

60歳以上の厚生年金加入は「払い損」？

3月の朝日新聞投稿「60歳以上は厚生年金『払い損』」を契機に、高齢期雇用と年金の関係が注目されました。

基礎年金（国民年金）は20〜60歳の40年間の加入期間ですが、厚生年金は20歳未満・60歳以上も加入でき、掛金は一率です。20歳未満と60歳以上の加入期間分は、「経過的加算」による救済もありますが、40年超過分は、基礎年金給付の対象期間に加算されません。「払い損」とまでは言えないものの、制度矛盾があります。

基礎年金加入期間

延長の障碍は誰か？

退職者連合は、少子高齢化対策の一つとして、基礎年金加入期間を65歳まで延長する改正を求めています。が、「負担

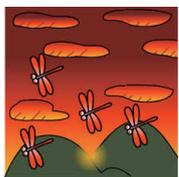
増を嫌がる」財務省が抵抗しています。都共済都の話し合いの今年のテーマの一つとして「基礎年金加入期間延長の障碍は財務省だけか、保険者の考え方は何か」を質しました。事前に文書を提出したにも関わらず、都共済側から具体的な回答を得られませんでした。

都共済の年金積立金は単年度で黒字に

都共済の年金財政は01年から連続して赤字でしたが、17年度は単年度では黒字化したとの回答がありました。しかし、この黒字化は近年の株高によるもので、株頼りの危うい状況に変わりはありません。

都共済の年金積立金運用は国の指針通り

年金積立金の運用は、国の指針で定められた「国内株式・国内投信・国外株式・国外投信」への投資割合に沿った内容で行われていることが示されました。このデータは都共済のホームページで閲覧可能です。（丹野）



一組総支部「福島フイールドワーク」に参加して②

7月6日〜7月7日に行われた一組総支部企画「福島フイールドワーク」の2日目は、見学地向かう車中より、放射性廃棄物を詰め込んだ何か所ものフレコンバッグの山を見たことから始まった。

処分場管理に一抹の不安

最初の見学先は、富岡町にある国有の「特定廃棄物埋立処分場」。ちなみにすぐ南は楢葉町だ。処分場を見渡せる場所は長い坂道と急な階段の先にあつた。埋立地は上流側と下流側の区画に分けられ、放射能汚染レベル10万Bq/Kg以下の焼却灰やリサイクルできない不燃物を埋め立てている。持ち込まれるのは、①双葉郡8町村の生活ごみ、②汚染廃棄物対策地域等発生がれきなどの災害廃棄物や片付けごみ、③福島県内の下水汚泥、浄水発生土、農林業系副産物等の指定廃棄物で8千〜10万Bq/Kgのもの、可燃物は焼却灰にして埋め立てる。

埋立地は、二重の遮水シートを設置しているが、下流側は収納容器のまま、上流側は放射性セシウムが比較的溶出しやすい焼却飛灰等をあらかじめセメント固化し埋め立てているとのことだった。遮水シートの耐久性や安全性等について質問をしたが明確な回答がなく、環境省の対応に一抹の不安を感じた。

熱意感じたメルテック

次の見学場所は、いわき市にある焼却灰溶融処理施設「メルテックいわき(株)」。廃棄物焼却工場から出た焼却灰を溶融処理し、人工骨材と溶融メタルを取り出す施設で、鋳鉄用溶融炉として実績のあるコークス炉が使用されていた。外側から

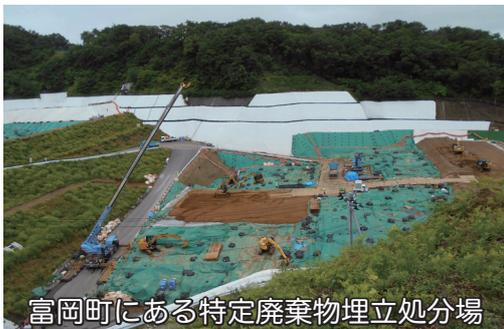
見ても構造を理解し易く、溶けた溶融灰が真っ赤に流れる様子まで見られて、とても面白かった。工場内に製品の溶融スラグと溶融メタルの置き場もあり、施設全体の流れが良くわかり勉強になった。

清掃一組の灰溶融施設は、現在、ほとんどが縮小されているが、メルテックいわきで生産される人工骨材や溶融スラグは、復興の進む福島県内でコンクリート骨材、路盤材、アスファルト骨材等に活用され、施設も順調に稼働しているとのことだった。メルテックいわきで現場案

内をしてくれた人達の説明は分かりやすく、色々な質問にも明確に答え、今後の事業展開についても熱意が感じられた。清掃一組は、メルテックいわきとの連携も、選択肢のひとつとして検討しても良いのではないかと思った。

好評だった企画、次も

帰りの車中で、「福島フイールドワーク」の感想を述べてもらった。「大変勉強になった」「同様の企画があれば是非参加したい」という感想が多く出された。大震災後の復興に向けた福島県の厳しい現状と、そこから立ち上がるとうとする人達の熱意が感じられ、有意義な体験になった。(山下秀男)



富岡町にある特定廃棄物埋立処分場



放射性廃棄物搬入断固反対の看板



メルテックいわきの灰溶融施設



「メルテックいわき」の前にて

都合のいい数字の断片を並べて、ウソとゴマカシでたぶらかすのが、安倍の常套手段。

▼攻めの農政を吹聴

9月の自民党総裁選で安倍は、地方票欲しさに農業重視の姿勢を盛んにアピールしました。悪徳学者竹中平蔵等の口車に乗って盛んに農協叩きをやっていた安倍がです。

安倍は「攻めの農政で農林水産物輸出を倍増させた」と強調しました。

▼輸出額はほぼ倍増

農水省の統計では、17年度の農林水産物輸出額は8千億円で、5年前比1.8倍になったとされています。アベノミクスの成果というわけです。

▼その中身が問題

実態はどうでしょう。問題はこの統計の中身です。農林水産物輸出品目中の農畜産物金額トップ5は、①アルコール飲料、②穀物、③ソース混合調味料、④野菜・果実類、⑤清涼飲料水です。アルコール飲料の原料は日本酒以外ほとんどが輸入品、穀物の原料もほとんどが小麦など輸入品、調味料、清涼飲料水も輸入原料による工業製品で、日本の農家とは無関係です。国内農産品といえるのは野菜・果実類251億円、日本酒187億円、トップ5外の緑茶143億円くらいしかありません。

農林水産物輸出額倍増？ 安倍のウソを暴く

▼増えたのは工業製品

海外の「和食」ブームなどで味噌・醤油の輸出量は増えていますが、味噌の原料の大豆・小麦は90%が輸入品、醤油にいたっては製造用大豆の97%が輸入品であり、工業製品です。

このように、農水省所轄の農林水産物輸出のほとんどが輸入材料による加工貿易であって、日本農業の強化とは全く無関係です。

▼安倍的手法の正体

実態を隠してあたかも成果が出ているかのようにデマを流す手法が、アベノミクスの本質です。ウソつき安倍をこのま

まにしているいいわけがありません。そうでしょう。



戦争法の強行採決から3年の9月19日、「安倍9条改憲NO! 沖縄・辺野古新基地建設阻止! 日比谷集会」が開催され、約5千人が参加しました。

各政党挨拶に続いて、安保法制に反対する学者の会の上野千鶴子・東大名誉教授は「民主主義は繰り返し不死鳥のごとく生き返る。このように皆さんがいるからだ。あきらめず一緒に歩き続けよう!」と呼びかけました。

集会後、プラカードやペンライトを手に、「改憲阻止」等をコールし、銀座をデモ行進しました。

さようなら原発全国集会が9月17日、代々木公園で開かれ、8千人が集まりました。

福島から、原発訴訟原告団が「オリンピックまで帰還困難地域を含めた仮設住宅をなくし、被災者を切り捨てようとしている。」と痛烈に批判。続いて「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」の城南信用金庫顧問吉原毅さんは「原発の耐震設計は一般住宅の10%しかない。これで安全か。」と、早急な原発全廃を求めました。

集会後、表参道をデモ行進し、脱原発を訴えてコールしました。